

# 自律的移動支援プロジェクトの推進

ユニバーサルデザインのまちづくりに向け、誰もが安心して快適に移動できる環境をつくりあげる  
ITを活用し、「いつでも、どこでも、だれでも」が移動時に必要な情報を利用できるシステムを構築  
関係省庁との連携のもと、民間活力を最大限活用して実証実験を実施し、官民が共同して参画できるシステム仕様等を策定

## 社会のニーズ

### 安心して移動できる環境整備

- ◇高齢者、障害者等の社会参画機会の確保
- ◇観光客の受入環境の整備

## 技術のシース

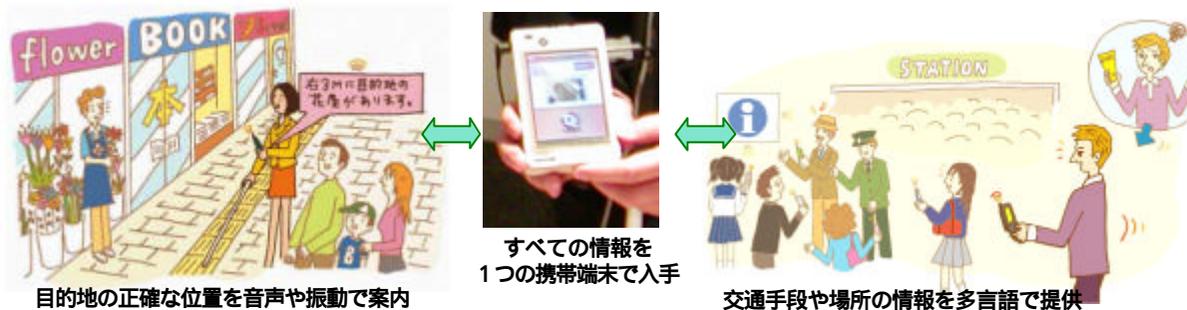
### ITの急速な進展

- ◇ITタグ等の情報発信機器の小型化、低価格化、高機能化
- ◇携帯電話の普及、ブロードバンド環境の整備

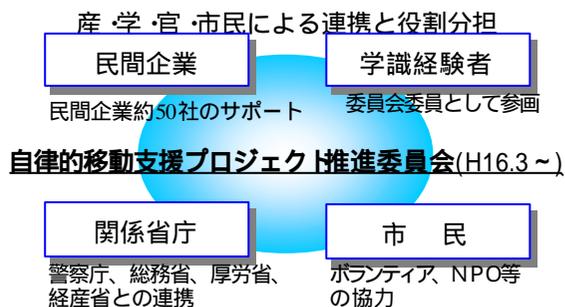
ITの活用によるハードウェアの「一体化」

場所が話しかける新しいサービスを実現

身体的状況に応じて移動経路、交通手段、目的地等の情報を必要な形でリアルタイムに提供



## 関係機関等との連携のもとオープンな環境でつくりあげる



### オープンなシステムでつくりあげる

実証実験を積み重ね技術を研鑽

### 汎用性・拡張性のあるシステム

民間等サービス創出

### 国際標準 (Global Standard) をめざす

わが国の最先端技術を世界に発信

### ◇スケジュール

H16年度

情報提供項目等システム検討  
現地検証 (神戸)

H17年度

支援システムの検証  
仕様の策定

逐次  
各地に  
展開

ユニバーサルデザインのまちづくり